

皆満寺通信

第22号

法語

出発は足下からなのに
ひとはすぐ頭で歩こうとする

平野 修

皆さんは「お念仏申しなさい」と言われて素直にお念仏を口に出来ますか？お仏申す前に頭で考えていませんか？

歩こうとするときにいちいち頭で考えて歩きませんか。考える前に足が出ます。考えていたらかえって足がもつれて転んでしまいそうです。でも実際は頭が足に命じているから歩けるのですよね。それに応えてくれる足があるから歩けるのでしょ。う。

お念仏もそういうものでないでしょうか。仏さまの「念仏申しなさい」という声は能の指令みたいなもので、足が応えて歩くように身で受けてお念仏申す。でも僕らは素直に従えないから足がもつれて転んでしまうようにお念仏が出てこない。

「念仏なんか称えても意味無いじゃん」そう頭で思ったところが僕らの念仏の始まりですが、既に頭でそう思ったところが、お念仏が僕らに届いている証しなのかも知れませんね。

全て見透かされて私のところに届き働き続ける願いに身で応える。

お念仏、口に出してみませんか。意外とすんなり歩けるかも知れませんよ。

本山収骨に行ってきました

去る10月2日(月)あいにくの雨模様となりましたが、総勢21名で本山へ日帰りバスで収骨参拝してきました。

本山では阿弥陀堂、御影堂、参拝ホール、諸殿群を行ったり来たり、そして祖廟は山の麓なので階段だらけ。あんなに歩くとは思っておられなかったようで、「疲れた〜」と皆さん口々にしておられました。護持相續されてきたご先達の思いに触れ、「来れて良かった〜」と笑顔になられていたので、お連れできて本当に良かったと思いました。

今回は2年後に予定しています。



報恩講勤修

11月13日(月)~14(火)
日中時刻 9時30分
速夜時刻 13時00分

秋の気配が日ごとに深まり、報恩講をお勤めする時期となりました。本年もご門徒の力を結集して勤めさせていただきますと思っています。

今年は法要に先立ち仏教讃歌の時間を設けました。楽譜も用意しますので皆さまと歌を味わうことが出来たら良いと思います。皆さまのお越しをお待ちしています。ぜひ御聴聞下さい。

報恩講志のお願い

本年も皆満寺に所属する全ご門徒の力を結集して報恩講をお勤めさせていただきますたく存じます。

例年の如くお一人2,000円以上での報恩講ご懇志を御願い申し上げることでございます。何卒ご協力の程宜しく御願い申し上げます。

ご法話のご案内

13日(月) 絵解き一法話
正琳寺住職 野田 慈勝師
久証寺若院 名和 正真師

14日(火) 法話
善慶寺住職 住田 昭信師

絵解き法話ってなに？

報恩講で「絵解き」を取り入れるようになり6年ほど経ちました。「絵解き」とは、文字通り絵画の内容を口頭で解説することですが、報恩講での絵解き法話は、親鸞聖人の御絵伝を用いて聖

人の生涯を偲び、聖人のご遺徳をいただきます。時折独特な節を用いる「節談」が実に味わい深く、聞き手の心に響いてきます。

絵解きは、平安時代には四天王寺や法隆寺で「聖徳太子絵伝」を絵解きしていたようですし、鎌倉時代には、大きな寺院には絵解きのスペシャリストがいたようです。意外に歴史が深いですね。やがて次第に娯楽的要素が多くなり芸能化し、絵解きや節談は説教としては邪道だという批判が強くなり衰退したようですが、近年、その「味わい深さ」から見直されてきました。

今回は初の試みですが、二人の説教師に御絵伝の場面をリレーしてご法話頂きます。

今年はいよいよ親鸞聖人御生涯の後半、流罪以降の越後～関東、そして晩年の京都へ戻られてお亡くなりになり、本願寺が始まる場面までのお話です。

聖人は流罪勅免以降も京都へは帰られず、今の茨城県辺りに20年ほど住まわれました。その間、積極的にお念仏の教えを勧められ、60歳を超えてから京都へ戻られます。そしてご和讃をはじめ様々な著作を残され、90年の生涯を閉じられました。その歩みを、ユーモアを交えながら皆さまにお伝えいただけたと思います。是非ご聴聞下さい。



昨年の絵解きの様子

☆報恩講日程☆

11月13日(月)

午前9時 仏教讃歌

午前9時半「初日中」

「御伝鈔」

「絵解きりレー法話」

《お斎》

午後1時「大速夜」

「御伝鈔」

「絵解きりレー法話」

午後3時半 終了

11月14日(火)

午前9時 仏教讃歌

午前9時半「満日中」

「御俗鈔」

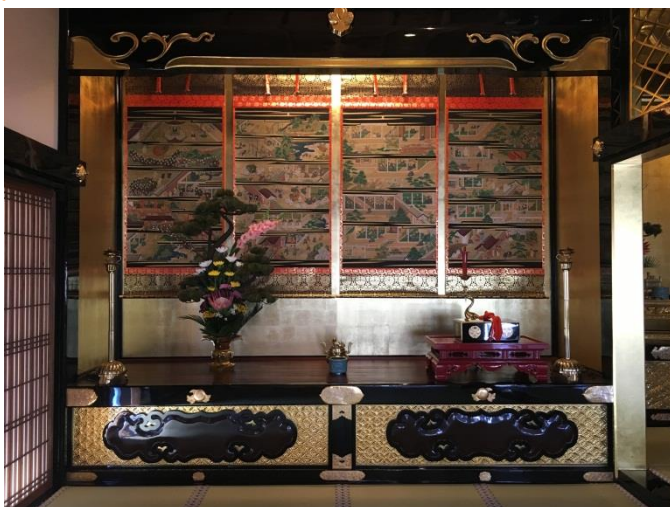
「法話」※2席

《お斎》

午後1時半さら「お浚い」

「御文」

午後2時 終了



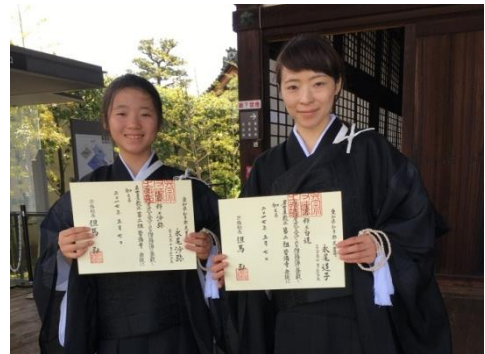
報恩講の二日間は南余間に親鸞聖人の御生涯を描いた御絵伝を奉野します
※仏華はご門徒が立てて下さっています

得度のご報告

去る5月7日(日)にご本山に於いて妻である坊守と長女がお得度を受けさせていただき、法名を頂きました。

得度とは僧侶となる儀式で、現在は当派では男女とも満9歳から受式出来るようになりました。

僕が得度を受けたのは小学6年生の夏休み。剃髪をしたので、帽子が手放せなかったことをよく覚えています。僕は剃髪することが嫌でなかなか「うん」と言えなかったのに、坊主に嫁いだご縁、坊主の娘に生まれたご縁を受け止めて、寺でお育てを頂く中で、僧侶となるご縁を結ばせていただきました。有り難いことだと思います。



法名 釋尼沙弥(娘) 釋尼白道(坊守)
※法名は仏教徒としての名前で、亡くなられた人の名前ではありません。親鸞聖人に倣い必ず釋と名告り、また僧侶と門徒の区別もありません。戒名でないのも真宗の特徴です。

境内納骨堂修復のお知らせ

お気づきの方も居られると思いますが、本堂南にある納骨堂の内部の修復工事に先月より入っています。11月末には工事をほぼ終え、年内に仮納骨堂に移設しているご遺骨を戻す予定です。

来年早々には新たな規定をお知らせして来年4月から新规定にて運用を開始する予定です。

平成30年度 行事予定表

法要・行事	月 日・時刻
修正会	1月 1日(月)10:00～
春の彼岸会	3月21日(水)10:00～
永代経	6月23日(土)10:00～
サマー寺子屋 夏の花祭り	7月28日(土)10:00～
盂蘭盆会	8月13日(月)～15日(水)
秋の彼岸会	9月23日(日)10:00～
納骨総経	10月20日(土)10:00～
報恩講	11月13日(火)14日(水)
御正忌団参	調整中
除夜の鐘	12月31日(月)23:45～

平成30年度 年忌法要表

年忌法要	還 浄 年
1 周 忌	平成 29 年
3 回 忌	平成 28 年
7 回 忌	平成 24 年
13 回 忌	平成 18 年
17 回 忌	平成 14 年
(23 回 忌)	平成 8 年
25 回 忌	平成 6 年
(27 回 忌)	平成 4 年
33 回 忌	昭和 61 年
(37 回 忌)	昭和 57 年
50 回 忌	昭和 44 年

ご法事は朱蠟、打敷、焼香のご準備を
※HPのWEB忌日表もご活用下さい
 (ご命日を入力→年忌年ご確認)

みんなで気軽にお茶を飲みながら ～さんかの会～ 毎月第2木曜午後1時半より

月イチ開催の緩い会です。ぬり絵をしたり、歌を歌ったり、肩肘張らずに仏法に触れることが出来る会です。

庫裏で開催中です。お茶を飲みに来るくらい気軽な気持ちでお越し下さい。



さんかの会での作品です

【後書き】

▼名古屋教区第2組（知多半島内の真宗寺院30カ寺）で発行している機関誌「出遇い」を誌面リニューアルに伴い同封させていただきました。お寺とご門徒をつなぐ、真宗に触れる、仏法に遇う、そんなご縁が広まって欲しいと思います。

「皆満寺通信」 第22号

2017年10月16日発行

〒470-2339

愛知県知多郡武豊町下門137

真宗大谷派 皆満寺

住職 永尾圭吾

TEL 0569-72-0435

FAX 0569-72-0740

URL <http://www.kaimanji.or.jp>

Mail jinguzan-137@kaimanji.or.jp